

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-167390

(P2012-167390A)

(43) 公開日 平成24年9月6日(2012.9.6)

(51) Int.Cl.  
A41G 5/00 (2006.01)F1  
A41G 5/00

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 11 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2011-27582 (P2011-27582)  
(22) 出願日 平成23年2月10日 (2011.2.10)(71) 出願人 511037078  
リー キルーウー  
大韓民国 425-080 キョンギド  
アンサンシ タヌォング チョジドン セ  
オハエ アパート 506-1001  
(74) 代理人 110000578  
名古屋国際特許業務法人  
(72) 発明者 リー キルーウー  
大韓民国 425-080 キョンギド  
アンサンシ タヌォング チョジドン セ  
オハエ アパート 506-1001

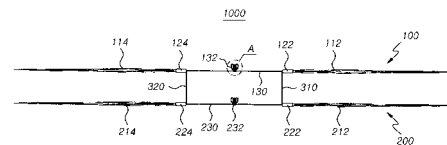
(54) 【発明の名称】 頭髮用エクステンションのパッケージ、頭髮用エクステンション施術用の器具及びこれらを用いた頭髮用エクステンションの施術方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 頭髮用エクステンションの施術時間を著しく短縮することができ、施術方法の便宜性を増大する。

【解決手段】 各々の複数の仮毛からなる第1毛髪部112及び第2毛髪部114と、一領域に所定の結び目が形成されており、前記第1毛髪部112及び第2毛髪部114を繋げるための連結部材130と、及び前記第1毛髪部112及び第2毛髪部114の各々を前記連結部材130に固定させるための第1固定部材122及び第2固定部材124を備えた複数の頭髮用エクステンションを含み、結び目132と第1固定部材122及び第2固定部材124との間には各々隣接した頭髮用エクステンションを引っ張るための第1張力部材310及び第2張力部材320が繋がられている頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ1000を提供する。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

各々の複数の仮毛からなる第 1 毛髪部及び第 2 毛髪部と、  
一領域に所定の結び目が形成されており、前記第 1 毛髪部及び第 2 毛髪部を繋げるための連結部材と、  
及び前記第 1 毛髪部及び第 2 毛髪部の各々を前記連結部材に固定させるための第 1 固定部材及び第 2 固定部材を備えた複数の頭髮用エクステンションを含み、  
前記結び目と前記第 1 固定部材及び第 2 固定部材との間には各々隣接した頭髮用エクステンションを引っ張るための第 1 張力部材及び第 2 張力部材が繋がられている頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

10

**【請求項 2】**

互いに隣接した 2 つの頭髮用エクステンションを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

**【請求項 3】**

前記第 1 固定部材及び第 2 固定部材は磁性物質を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

**【請求項 4】**

前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材は各々隣接した頭髮用エクステンションの第 1 固定部材の間及び第 2 固定部材の間に繋がられていることを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

20

**【請求項 5】**

前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材は前記第 1 固定部材と前記結び目との間及び前記第 2 固定部材と前記結び目との間に、前記連結部材に沿って移動できることを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

**【請求項 6】**

前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材は弾性体または糸であることを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

**【請求項 7】**

前記結び目は 1 次リボン結び及び 2 次 1 . 5 回転結びによって 3 つの輪を含む二重結び目であることを特徴とする請求項 1 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージ。

30

**【請求項 8】**

頭髮用エクステンション施術用の器具として、  
取っ手、

及び前記取っ手の末端部から延長され、分岐した少なくとも 2 つのスキル針を含み、  
前記スキル針の末端には鉤部及び前記鉤部を改廃するための改廃部が備えた頭髮用エクステンション施術用の器具。

**【請求項 9】**

前記スキル針の長さは頭像の屈曲に対応するように互いに異なることを特徴とする請求項 8 に記載の頭髮用エクステンション施術用の器具。

40

**【請求項 10】**

請求項 9 に記載の頭髮用エクステンション施術用の器具の各々のスキル針を請求項 7 に記載の頭髮用エクステンションのパッケージの各々の結び目の輪に貫通させる段階、  
各々複数の毛髪を段位施術の対象体にして、スキル針 1 つ当り段位施術の対象体 1 つが対応できるようにし、施術の部位が前記スキル針の鉤の内に位置することができるよう前記段位施術の対象体を配置する段階、  
前記頭髮用エクステンション施術用の器具を施術の対象者の頭から遠くなるように引っ張る段階、  
及び前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材を互いに反対方向を向くように上下に引っ張る段階を含む頭髮用エクステンションの施術方法。

50

**【請求項 11】**

作業を完了した後、前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材を取り除く段階をさらに含むことを特徴とする請求項 10 に記載の頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションの施術方法。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本技術は、ヘアスタイルを演出するための美容分野に関し、より詳細には短縮された時間に及び容易に頭髮用エクステンションの施術ができる頭髮用エクステンションのパッケージ、頭髮用エクステンション施術用の器具及びこれらを用いた頭髮用エクステンションの施術方法に関する。

10

**【背景技術】****【0002】**

現代社会の多様性及び文化水準の向上などによって外見に対する興味が日々増大している。特にヘアスタイルの演出は個人の外見を飾るには欠かせないことになっている。最近では個性のあるヘアスタイル演出が可能な頭髮用エクステンションの使用が増大している。

**【0003】**

前記頭髮用エクステンションとは、所定の色、形、及び長さなどを有する複数の仮毛を含む鬘の一種であり、一般的に、1つの頭髮用エクステンションは前記複数の仮毛からなる1つの仮毛部を含む。前記頭髮用エクステンションは美容院などで簡単な施術を通じて人間の生毛に固定し、繋げることができる。例えば、前記頭髮用エクステンションを短い毛髪やまばらな髪の毛を持つ人に施術することで、毛髪が豊かでありながら長くて多様なスタイルを演出できる。

20

**【0004】**

しかしながら、前記頭髮用エクステンションの施術は、上述したように1つの仮毛部を含む1つの頭髮用エクステンションを所定量の生毛に固定して繋げる1回の施術過程を、数回反復することが必要となるため、施術時間がかかるという問題点がある。

**【0005】**

また、従来では、前記頭髮用エクステンションを前記生毛に固定して繋げるため、シリコンまたは接着剤などを用いる熱接着施術が行われている。しかしながら前記熱接着施術方式では生毛が熱によって損なわれ傷つけられる問題点がある。また、前記シリコンまたは接着剤が水または熱に脆弱な特性を有するため、その施術の部位で異物が取れやすくなり、または施術時と同一の状態で頭髮用エクステンションを維持することができる期間が短くなる可能性がある。また、前記熱接着施術方式では毛髪の伸縮性が低くなるため、施術の後、毛髪を洗う時、生毛と共に抜けることで脱毛が進むこともある。また、前記シリコンまたは接着剤によってその施術の部位が厚くなるため、頭皮で異物感を覚えやすくなる問題点がある。

30

**【0006】**

この問題点を解決するため本発明者は韓国登録特許第0986906号に記載されているように、両方に仮毛部を含む新たな形態の頭髮用エクステンションおよびこれを用いた熱接着方式ではなく、結び方式の頭髮用エクステンションの施術方法を発明した。

40

**【0007】**

しかしながら、こういう改善された方式が美容の業界で好評であるにもかかわらず、施術の時間を短縮するためのさらに改善された技術が要求されている。

**【先行技術文献】****【特許文献】****【0008】**

【特許文献1】韓国登録特許第0986906号

**【発明の概要】****【発明が解決しようとする課題】**

50

## 【 0 0 0 9 】

本発明は、頭髮用エクステンションの施術時間を著しく短縮することができ、施術方法の便宜性を増大することができる頭髮用エクステンションのパッケージを提供する。

## 【 0 0 1 0 】

また、本発明は、前記頭髮用エクステンションのパッケージを施術するための施術用の器具であり、複数の頭髮用エクステンションの施術をいっぺんにすることができる頭髮用エクステンションの施術用の器具を提供する。

## 【 0 0 1 1 】

さらに、本発明は、前記頭髮用エクステンションのパッケージ及び頭髮用エクステンション施術用の器具を用い、頭髮用エクステンションを効率的に、便利に施術することができる方法を提供する。

10

## 【課題を解決するための手段】

## 【 0 0 1 2 】

本発明の一実施形態に係る頭髮用エクステンション施術用の頭髮用エクステンションのパッケージは、各々複数の仮毛からなる第1毛髪部及び第2毛髪部、一領域に所定の結び目が形成され、前記第1毛髪部及び第2毛髪部を繋げるための連結部材、及び前記第1毛髪部及び第2毛髪部の各々を前記連結部材に固定するための第1固定部材及び第2固定部材を備える複数の頭髮用エクステンションを含む。前記結び目と前記第1固定部材及び第2固定部材との間には各々隣接した頭髮用エクステンションを引っ張るための第1張力部材及び第2張力部材が繋がられている。

20

## 【 0 0 1 3 】

本発明の一実施形態に係る頭髮用エクステンションのパッケージは、互いに隣接した2つの頭髮用エクステンションを含むことができる。また、前記第1固定部材及び第2固定部材は磁性物質を含んでもよい。

## 【 0 0 1 4 】

前記第1張力部材及び第2張力部材は各々隣接した頭髮用エクステンションの第1固定部材の間及び第2固定部材の間に繋げることができる。これと異なって、前記第1張力部材及び第2張力部材は前記第1固定部材と前記結び目との間及び前記第2固定部材と前記結び目との間に前記連結部材に沿って移動することができる。前記第1張力部材及び第2張力部材は弾性体または糸であってもよい。

30

## 【 0 0 1 5 】

前記連結部材の一領域に形成されている結び目は一次的リボンの結び目からなり、また二次的に1．5回転の結び目によって3つの輪を含む二重結び目であってもよい。

## 【 0 0 1 6 】

本発明の一実施形態に係る頭髮用エクステンション施術用の器具は取っ手、及び前記取っ手の末端部から延長し、分岐された2つのスキル針を含み、前記スキル針の末端には鉤部を改廃させるための改廃部を提供する。

## 【 0 0 1 7 】

前記スキル針の長さは全部同一であることもでき、これと異なって頭像の屈曲に対応できるように互いに異なってもよい。

40

## 【 0 0 1 8 】

本発明の一実施形態に係る頭髮用エクステンションの施術方法は上述した頭髮用エクステンション施術用の器具のスキル針の各々を上述した頭髮用エクステンションのパッケージの結び目の各々に通過させる段階、各々複数の髪の毛を単位施術の対象体とし、スキル針1つ当たり単位施術の対象体1つが対応することができるようにし、施術部位が前記スキル針の鉤の内に位置することができるように、前記単位施術の対象体を配置する段階、前記頭髮用エクステンション施術用の器具を施術の対象者の頭から遠くなるように引っ張る段階、及び前記第1張力部材及び第2張力部材を互いに反対方向を向けるように上下に引っ張る段階を含む。

## 【 0 0 1 9 】

50

作業の完了後、前記第 1 張力部材及び第 2 張力部材は取り除いてもよい。

【発明の効果】

【0020】

本発明の一実施形態に係る頭髮用エクステンションのパッケージ及び頭髮用エクステンション用の施術器具を使用する場合、1回の施術で従来の4回以上の施術を代えることができ、頭髮用エクステンション施術の時間を短縮することができる。また生毛に接着、またはゴム紐などの紐で結ぶなどの追加の作業をしなくても自動的に頭髮用エクステンションが生毛に結び目の形で結合することができ、簡単に頭髮用エクステンション施術ができる。

【0021】

したがって、本発明に係る場合、頭髮用エクステンション施術が大衆的に拡大することができ、小型美容院でも簡単な教育の後に誰しも簡単に頭髮用エクステンション施術ができることが期待される。

10

【図面の簡単な説明】

【0022】

【図1】本発明の一側面に係る頭髮用エクステンションのパッケージを示す概念図である。

【図2】図1の「A」の部分の拡大図である。

【図3】複数の頭髮用エクステンションのパッケージが頭髮用エクステンションの据え置き用の支持台に配置されたことを示す図である。

【図4】本発明の一側面に係る頭髮用エクステンション施術用の器具を示す斜示図である。

20

【図5】本発明の一側面に係る頭髮用エクステンションの施術方法を概念的に説明するための斜示図である。

【発明を実施するための形態】

【0023】

以下、添付する図を参照しながら本発明に係る頭髮用エクステンションのパッケージ、頭髮用エクステンション施術用の器具及び頭髮用エクステンションの施術方法について詳しく説明する。しかしながら、下記の説明は例示であり、特許請求の範囲に基づいて定められ、発明を実施するための最良の実施例により制限されるものではない。

【0024】

図1を参照すれば、頭髮用エクステンションのパッケージ1000は第1頭髮用エクステンション100及び第2頭髮用エクステンション200を含む。第1頭髮用エクステンション100と第2頭髮用エクステンション200は下述する張力部材310、320によって、引っ張るように張力部材310、320と繋がられる。

30

【0025】

第1頭髮用エクステンション100は複数の仮毛からなる集合体である第1毛髪部112及び複数の仮毛からなる集合体である第2毛髪部114を含む。前記第1毛髪部112及び第2毛髪部114は連結部材130によって空間的に互いに繋がられ、全体的に線形である1つの本体を含む。しかしながら、実質的に前記第1頭髮用エクステンション100は従来の頭髮用エクステンションの2つを含むことと同様の構造を有する。本実施例で、第1頭髮用エクステンション100は仮毛を含むが、これと異なって、鬘と同様、生毛を含んでもよい。

40

【0026】

前記第1毛髪部112及び第2毛髪部114は各々前記連結部材130に繋がられ、固定させるため、連結部材130と、各々第1固定部材122及び第2固定部材124によって連結部材130の両末端と結合できるように固定されている。前記連結部材130の材料としては特に制限されないが、前記連結部材130が、施術の完了後にも施術の対象者の頭に残存する構成であることで、なるべく異物感が少ない材料を使用することが好ましく、例えば、糸のような非弾性体が好ましいのである。また、前記第1固定部材122及び第2固定部材124としては接着剤を含むことで、前記連結部材130と固定部材12

50

2、124との結合部位の容積を増加させない固定部材122，124を使用すること  
でき、これと異なって、別途の結束手段を使用してもよい。

【0027】

前記固定部材122，124のうちの少なくとも1つの固定部材122、124は磁性物  
質を含むことができる。前記固定部材122，124が磁性物質を含む場合、頭髮用エク  
ステンションが施術された被施術者の血液循環及び頭痛予防などに役に立つこともある。

【0028】

前記連結部材130の一領域には所定の結び目132が形成されており、好ましくは連結  
部材130の中間に形成されることができる。前記結び目132の部位は第1頭髮用エク  
ステンション100が施術対象の部位に結束する支点である。

10

【0029】

図2は図1の「A」の部分の拡大図である。

【0030】

図2を参照すれば、連結部材130の一領域に形成された結び目132はリボン結びを1  
次的に行うことで、発生した2つの輪、及びリボン結びが行われた後にすぐ、接続部位の  
連結部材130を、輪の形状で作ったあと、2次的に1.5回転させることで、発生した  
追加の1つの輪を含み、前記結び目132は3つの輪を形成する。すなわち、連結部材1  
30は3つの輪を含む輪部132b及び各々の結びを行うことによって形成された結び目  
部132aを含む、前記結び目132は不完全な結び目として、張力などによる追加の外  
力によって、さらに結束することができる。

20

【0031】

第2頭髮用エクステンション200は複数の仮毛からなる集合体である第3毛髪部212  
及び、同じく複数の仮毛からなる集合体である第4毛髪部214を含む。前記第3毛髪部  
212及び第4毛髪部214は連結部材230によって空間的に互いに繋がれており、  
全体的に線形である1つの本体を含む。上述した第1頭髮用エクステンション100と同  
様、前記第3毛髪部212及び第4毛髪部214の間に位置する連結部材230の一領域  
には結び目232が形成されている。また、前記第3毛髪部212及び第4毛髪部214  
は各々前記連結部材230に繋がられ固定されるため、連結部材230と各々第3固定部  
材222及び第4固定部材224によって連結部材230の両末端と結合できるように固  
定されている。第2頭髮用エクステンション200は上述した第1頭髮用エクステンシ  
ョン100と同じく対応するため、追加の詳しい説明は省略する。

30

【0032】

一方、第1頭髮用エクステンション100及び第2頭髮用エクステンション200は第1  
張力部材310及び第2張力部材320によって互いに繋がれている。前記第1張力部  
材310は第1及び第3固定部材122，222と結び目132，232との間に繋がれ  
、第1頭髮用エクステンション100と第2頭髮用エクステンションとを繋げる。

【0033】

前記第1張力部材310は、各々第1固定部材122及び第3固定部材222の形成時に  
共に接着剤などで固定され形成することで、第1固定部材122及び第3固定部材222  
と繋げることができる。これと同様、第2張力部材320も第2固定部材124及び第4  
固定部材224の形成時に共に接着剤などで固定され形成されることで、第2固定部材1  
24及び第4固定部材224と繋げてよい。

40

【0034】

これと異なって、前記第1張力部材310は第1固定部材122と結び目132との間及  
び第3固定部材222と結び目232との間に繋げることができ、さらに連結部材130  
、230に沿って自由に移動してもよい。同様に前記第2張力部材320は第2固定部材  
124と結び目132との間に繋げることができ、さらに連結部材130、230に沿っ  
て自由に移動してもよい。

【0035】

前記第1張力部材310及び第2張力部材320は頭髮用エクステンション施術の最後の

50

段階で互いに反対方向を向くように上下方向に引っ張られることで、前記結び目 1 3 2、2 3 2 の不完全な結び目の状態を堅固に結束させることができる。したがって、施術の最後の段階でゴム紐で結ぶことや接着剤にて処理するなどの追加の作業をしなくても簡単に生毛と頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 をいっぺんに結束させて付着してもよい。

【 0 0 3 6 】

前記第 1 張力部材 3 1 0 及び第 2 張力部材 3 2 0 は張力を発生させることができる材質であれば特に制限されず、例えば、プラスチック微細管または糸であってもよい。

【 0 0 3 7 】

本実施例では、2つの頭髮用エクステンション 1 0 0、2 0 0 を含む頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 を説明したが、本発明の技術思想はこれに制限されず、3つ以上の頭髮用エクステンションを含む拡張された構造を含む。

10

【 0 0 3 8 】

図 3 は複数の頭髮用エクステンションのパッケージが頭髮用エクステンションの据え置き用の支持台に配置されたことを示す図である。

【 0 0 3 9 】

図 3 を参照すれば、頭髮用エクステンションのパッケージ 2 0 0 0、3 0 0 0、4 0 0 0 は頭髮用エクステンション施術時、作業の効率性を極大化するため、頭髮用エクステンションの据え置き用の支持台 5 2、5 4 に据え置かれるように連続的に作業ができる。前記据え置き用の支持台 5 2、5 4 は互いに並列で平行に配置された第 1 支持台 5 2 及び第 2 支持台 5 4 を含む。前記頭髮用エクステンションの据え置き用の支持台 5 2、5 4 は2つの長い管の形を有し、頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 の円滑な移動のため、前記第 1 支持台 5 2 及び第 2 支持台 5 4 の垂直切断面は円の形状であることが好ましい。本実施例で、前記第 1 支持台 5 2 は前記頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 の結び目 3 3 2 の輪部 3 3 2 b が内部を貫通し、前記第 2 支持台 5 4 は前記頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 の結び目 4 3 2 の輪部 4 3 2 b が内部を貫通する。前記頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0 の結び目 4 3 2 の輪部 4 3 2 b が内部を貫通する。前記頭髮用エクステンションのパッケージ 1 0 0 0、2 0 0 0、3 0 0 0 は前記頭髮用エクステンションの据え置き用の支持台 5 2、5 4 の長さの方向に沿って移動することができる。

20

30

【 0 0 4 0 】

図 4 は本発明の一側面に係る頭髮用エクステンション施術用の器具を示す斜示図である。

【 0 0 4 1 】

図 4 を参照すれば、頭髮用エクステンション施術用の器具 5 0 0 は取っ手 5 1 0 及び前記取っ手の末端部から延長されたスキル針 5 2 0 を含む。前記スキル針 5 2 0 は分岐された第 1 スキル針 5 2 2 及び第 2 スキル針 5 2 4 を含む。一方、前記第 1 スキル針 5 2 2 の末端には鉤の形状の鉤部 5 2 2 a 及び前記鉤部 5 2 2 a を改廃するための改廃部 5 2 2 b を含む。同様で、前記第 2 スキル針 5 2 4 の末端には鉤の形状の鉤部 5 2 4 a 及び前記鉤部 5 2 4 a を改廃するための改廃部 5 2 4 b を含む。

【 0 0 4 2 】

頭髮用エクステンション施術時、前記鉤部 5 2 2 a 及び鉤部 5 2 4 a の内部には各々施術の対象毛髪が挿入され、スキル針 5 2 2、5 2 4 の個数だけいっぺんに頭髮用エクステンションの施術が行われる。前記改廃部 5 2 2 b、5 2 4 b は頭髮用エクステンションの施術時、取っ手を被施術者から遠くなるように取っ手を引っ張る場合、開きながら内部にある生毛が排出される際、スキル針 5 2 2、5 2 4 に既に掛かっていた頭髮用エクステンションのパッケージ(未図示)の結び目(未図示)と結束される。

40

【 0 0 4 3 】

頭髮用エクステンションの施術者は作業の前、上述した頭髮用エクステンション据え置き用の支持台 5 2、5 4 に掛かっていた頭髮用エクステンションのパッケージ 2 0 0 0 の第 1 輪部 3 3 2 b を貫通するように第 1 スキル針 5 2 2 を通過させ、第 2 輪部 4 3 2 b を貫

50

通するように第 2 スキル針 5 2 4 を通過させることで、作業を準備する。

【 0 0 4 4 】

前記第 1 スキル針 5 2 2 の長さ(H 2)及び第 2 スキル針 5 2 4 の長さ(H 3)は互いに同一か異なることがあり、特にスキル針 5 2 2、5 2 4 の個数が 2 つを超過する実施例では被施術者の頭状の屈曲を反映し、スキル針 5 2 2、5 2 4 の長さ(H 2、H 3)が互いに異なってもよい。

【 0 0 4 5 】

一方、詳しく示さなかったが、前記第 1 スキル針 5 2 2 及び第 2 スキル針 5 2 4 を長さの方向に沿って移動できる構造で設計することで、前記スキル針 5 2 2、5 2 4 の長さを可变的に調節することができる。

10

【 0 0 4 6 】

一方、第 1 スキル針 5 2 2 及び第 2 スキル針 5 2 4 の間隔(H 1)は特に制限されないが、頭髮用エクステンションの密度または施術する頭髮用エクステンションの個数によって調節することができる。

【 0 0 4 7 】

図 5 は本発明の一側面に係る頭髮用エクステンションの施術方法を概念的に説明するための斜示図である。

【 0 0 4 8 】

図 5 を参照すれば、まず、頭髮用エクステンション据え置き用の支持台 5 2、5 4 などに据え置かれた頭髮用エクステンションのパッケージ 5 0 0 0 の第 1 結び目 6 3 2 及び第 2 結び目 6 3 4 の輪部の内部を貫通するように頭髮用エクステンション施術用の器具 7 0 0 の第 1 スキル針 7 2 2 及び第 2 スキル針 7 2 4 に各々掛ける。ここで、前記第 1 結び目 6 3 2 及び第 2 結び目 6 3 4 は不完全な結びの状態で、前記第 1 スキル針 7 2 2 及び第 2 スキル針 7 2 4 の長さの方向に沿って、自由に移動できないといけない。

20

【 0 0 4 9 】

つづいて、前記第 1 スキル針 7 2 2 の鉤部 7 2 2 a の内部及び第 2 スキル針 7 2 4 の鉤部 7 2 4 a の内部に複数の毛髪からなる段位施術の対象体の毛髪 8 1 0、8 2 0 を各々挿入させる。ここで、挿入された毛髪の部位は頭髮用エクステンションが結合する施術の部位になるように位置させる。

【 0 0 5 0 】

上述したように準備が整った後、頭髮用エクステンション施術の器具 7 0 0 の取っ手 7 1 0 を施術の対象者の頭から遠くなるように引っ張る。このように取っ手 7 1 0 が引っ張られれば、改廃部 7 2 2 b、7 2 4 b が開きながら段位施術の対象体の毛髪 8 1 0 と結び目 6 3 2、6 3 4 とが一次結束される。つづいて、第 1 張力部材 6 1 0 及び第 2 張力部材 6 2 0 を互いに反対方向を向くように上下方向で張力が発生するように引っ張れば、ゆるい状態の結び目 6 3 2、6 3 4 が生毛と強く 2 次結束される。したがって、ゴム紐や接着剤などの追加の結束手段がなくても完全に頭髮用エクステンションのパッケージ 5 0 0 0 が 2 つの段位施術の対象体の毛髪 8 1 0、8 2 0 と結束される。したがって、一回の施術で従来の 4 つの頭髮用エクステンションを簡単に施術することができる。

30

【 0 0 5 1 】

本実施例で、作業を完了した後、前記第 1 張力部材 6 1 0 及び第 2 張力部材 6 2 0 は頭に異物感または前記張力部材 6 1 0、6 2 0 が外部に露出されることを防ぐために取り除かれる。

40

【 符号の説明 】

【 0 0 5 2 】

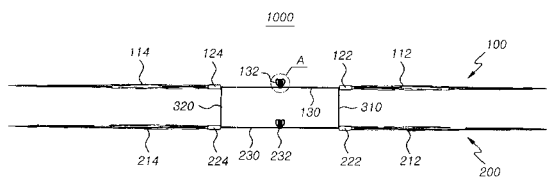
1 0 0・・・第 1 頭髮用エクステンション、1 2 2・・・第 1 固定部材、1 2 4・・・第 2 固定部材、1 3 0・・・連結部材、2 0 0・・・第 2 頭髮用エクステンション、2 2 2・・・第 3 固定部材、2 2 4・・・第 4 固定部材、2 3 0・・・連結部材、3 1 0・・・第 1 張力部材、3 2 0・・・第 2 張力部材、5 0 0・・・器具、5 2 0・・・スキル針、5 2 2・・・第 1 スキル針、5 2 4・・・第

50

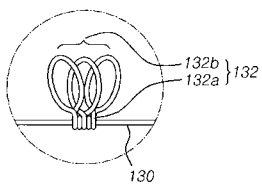


2 スキル針、6 1 0 . . . 第 1 張力部材、6 2 0 . . . 第 2 張力部材、7 0 0 . . . 器具、7 2 2 . . . 第 1 スキル針、7 2 4 . . . 第 2 スキル針、8 1 0 . . . 毛髪。

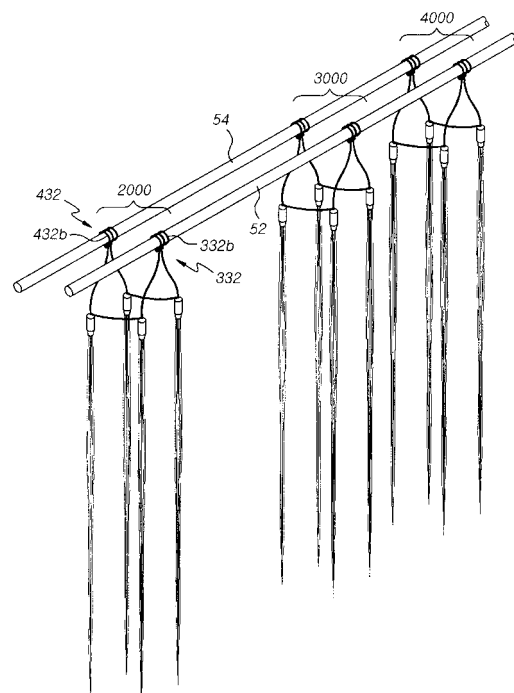
【 図 1 】



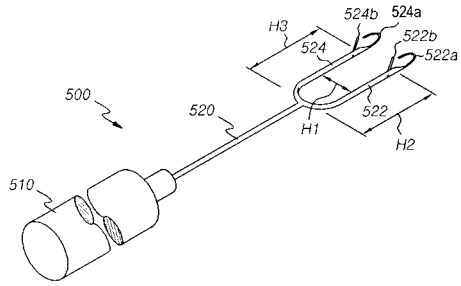
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

